

保存版
令和3年6月発行

津久見市

公共下水道事業 計画区域における 内水ハザードマップ

(H29.9洪水相当の大雨による浸水想定図)

内水ハザードマップとは

内水ハザードマップは、公共下水道事業計画区域内で排水路や道路側溝の排水能力を上回るような降雨が発生し、河川の水位や海の潮位が高くなり、排水できなくなるときに発生する浸水(内水による浸水)を対象としています。水害から事前に身を守るため、このハザードマップを有効にご活用ください。

発行：津久見市役所 TEL (0972) 82-4111

頻発する災害に注意

内水氾濫に注意!

下水道施設や水路などの排水能力を上回る大雨による浸水や、川の水位が高くなり放流できず、マンホールや雨水ますなどから溢れて起こる浸水です。



今回、内水ハザードマップとして公表しました。

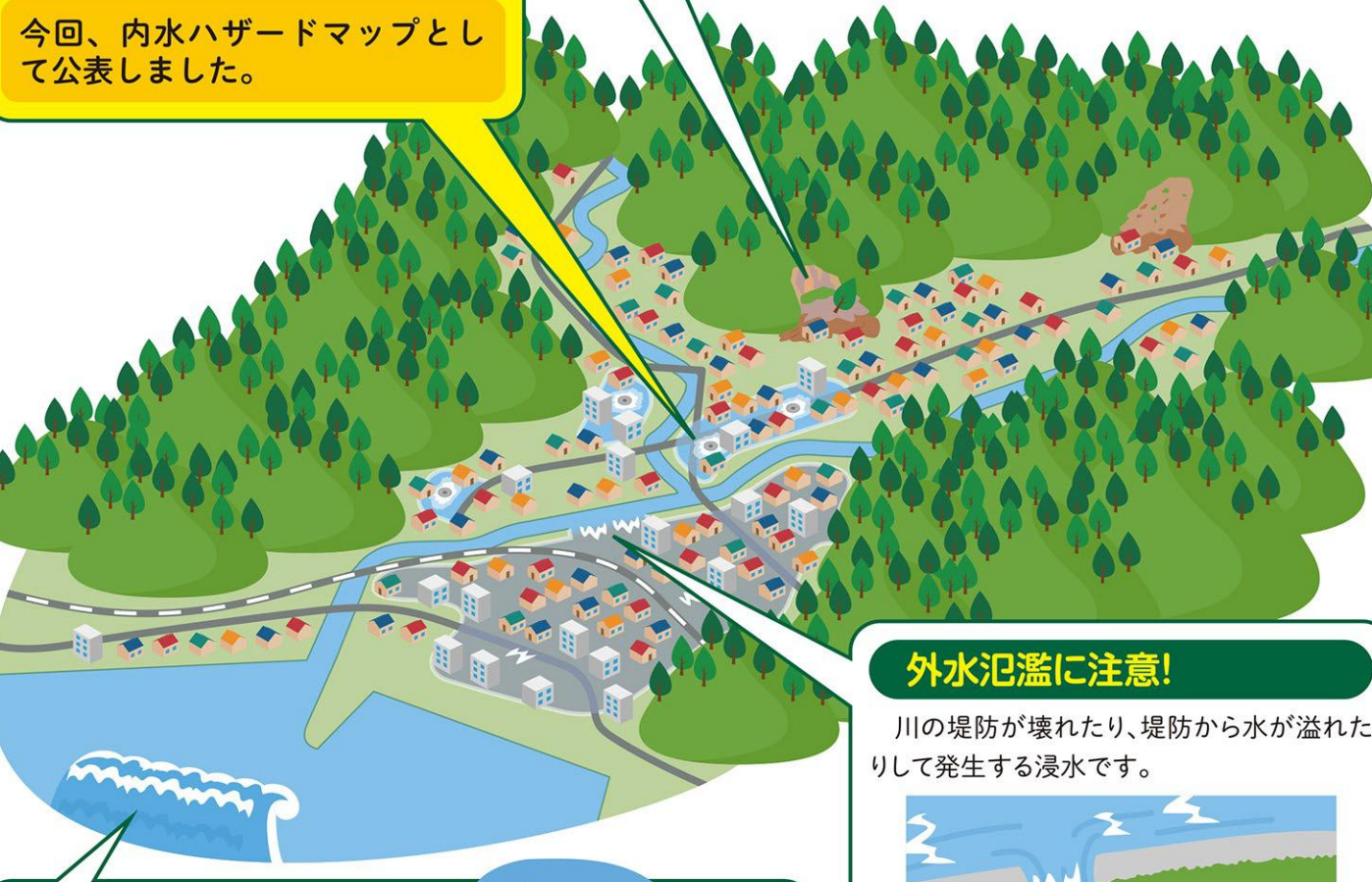
土砂災害に注意!

大雨や地震によって地盤が緩むと、土砂災害が起こる危険があります。雨が降っていると、雨はもたらぬ、雨が止んでも危険な状態が続いているので注意が必要です。



土砂災害に関する情報はこちらで

●津久見市土砂災害ハザードマップ (H30)
主な記載内容:土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域等



津波に注意!

強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、または弱い地震であっても長い時間揺れを感じたときなどは、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。

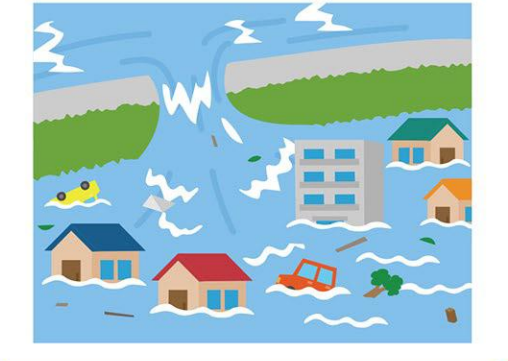


津波に関する情報はこちらで

●津久見市津波ハザードマップ (H25.4)
主な記載内容:津波による浸水の深さ、避難所等

外水氾濫に注意!

川の堤防が壊れり、堤防から水が溢れりて発生する浸水です。



外水氾濫に関する情報はこちらで

●津久見市洪水ハザードマップ (R3.4)
主な記載内容:洪水による浸水範囲や浸水の深さ(想定最大規模)、避難所等

大雨時の気象情報

雨が強くなると…

注意報

大雨・洪水注意報

災害が起こるおそれがある場合に、その旨を注意して行う予報。
平坦地50mm以上/3時間
平坦地以外40mm以上/時間

大雨が降り続く…

警報

大雨・洪水警報

重大な災害の起こるおそれがある場合、その旨を警告して行う予報。
平坦地80mm以上/3時間
平坦地以外70mm以上/時間

さらに激しい大雨が続くと…

特別警報

大雨特別警報

ただちに命を守る行動をとる!
重大な災害の起こるおそれが著しく大きい場合、その旨を警告して行う予報。

記録的短時間大雨情報 110mm/時間
大雨・洪水警報発表中に、災害の発生につながるような雨量であることをお知らせするために発表されます。

記録的短時間大雨情報とは
基準は、1時間雨量歴代1位または2位の記録を参考に、概ね県予報区ごとに決めています。この情報は、大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表されるもので、大雨を観測した観測点名や市町村等を明記しています。

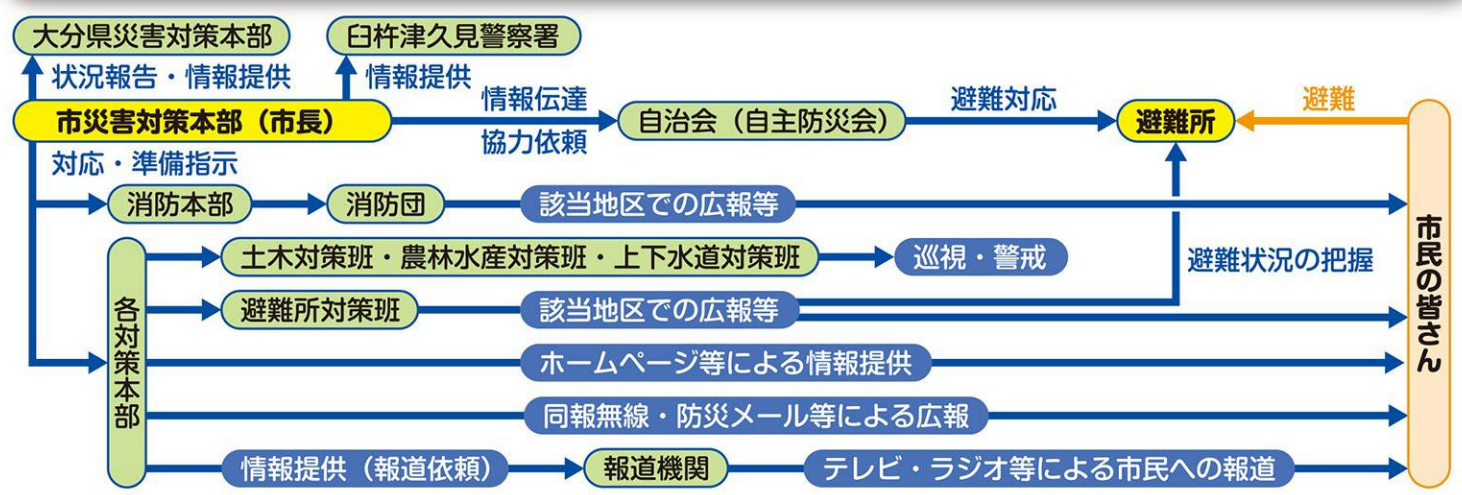
避難情報の種類と取るべき行動

避難情報	警戒レベル	発令される状況	発令後にとるべき行動
高齢者等避難	3	災害発生のおそれがあり、避難しなくてはならない状況になる可能性があるときに発令されます。	高齢者や子ども、体の不自由な人等、避難行動に時間を要する方やその支援者の方は避難行動を始めましょう。また、それ以外の方も必要に応じ、危険を感じたら自主的に避難行動を始めましょう。
避難指示	4	災害発生のおそれが高まったときに発令されます。	全員避難です。指定緊急避難場所や近隣のより安全な場所・建物等への「立退き避難」を基本とする避難行動をとります。立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねない自ら判断する場合には、少しでも命が助かる可能性が高い避難行動として「屋内安全確保」を行います。

緊急安全確保 5
災害が発生・切迫し、警戒レベル4の発令により求めの指定緊急避難場所等への立退き避難を安全にできない可能性があると考えられる場合に発令されます。

※災害の発生状況が把握できていない場合などは、警戒レベル5が発令されない可能性があります。

洪水情報や避難情報の流れ



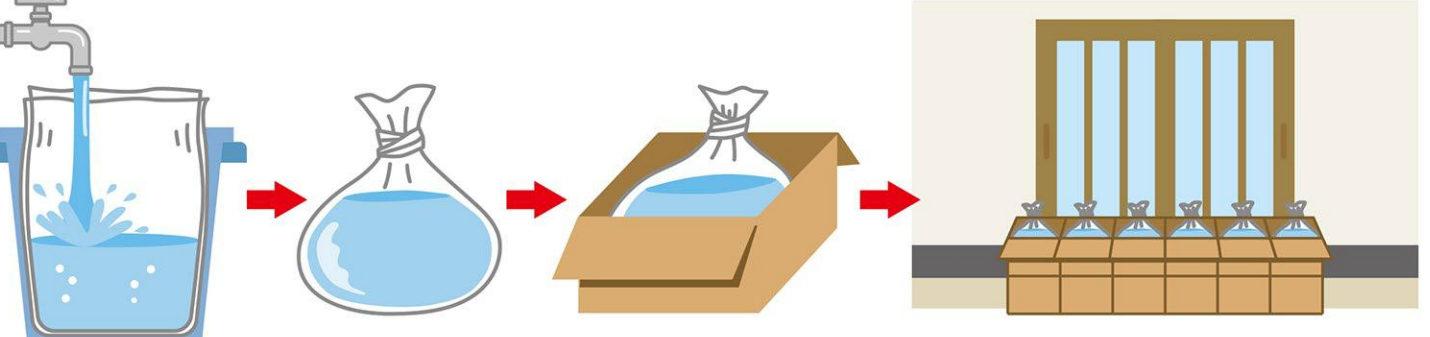
浸水被害から家屋を守る

「土のう」
出入り口に土のうを使用し、浸水を防ぎます。

「止水板」
出入り口に長めの板を使用し、浸水を防ぎます。

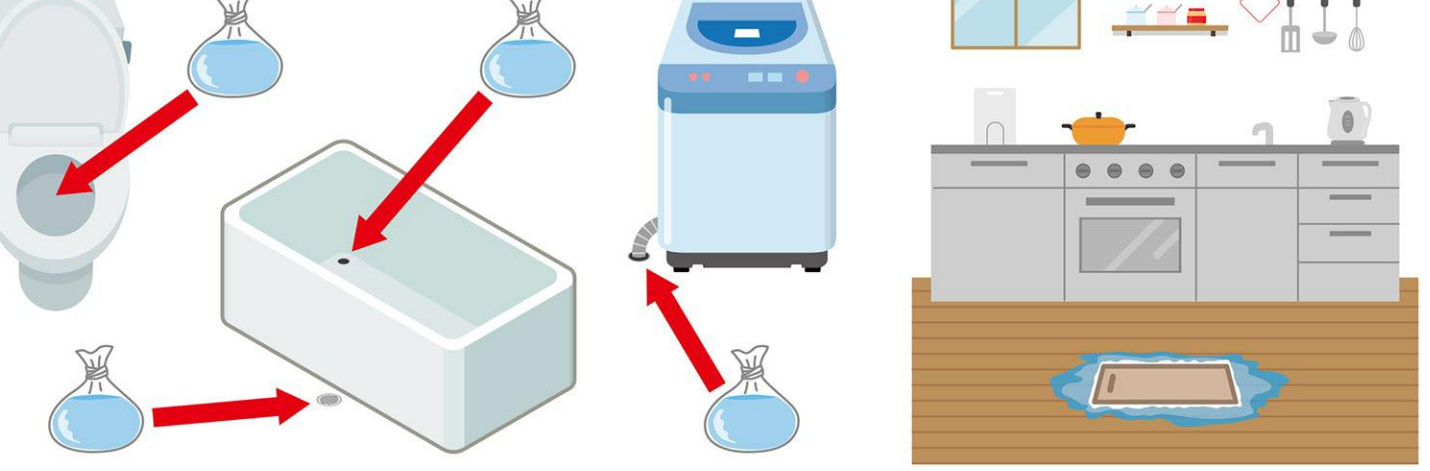
家庭でできる簡易水防工法

- 家庭用ごみ袋(40リットル程度が適当)などを二重にし、半分にいまで水を入れて固くを縛ります。水は、風呂の残り湯などでも良く、ポリバケツに袋を広げて水を入ると簡単です。
- 玄関や勝手口の前に隙間なく詰めて置きます。一つ約20kgありますので、運搬に注意してください。
- 段ボール箱に入れて敷き詰めると、強度が増し安定します。積み重ねて水につからない部分を多くすると流れにくくなります。



思わぬ場所からの浸水を防ぎましょう

住宅の周辺が浸水すると、下水が逆流して、トイレ、風呂場や洗濯機の排水口などから水が噴き出ることがあります。ビニール袋に水を入れた水のうを置く、と、逆流を抑える効果があります。



避難時の注意事項

避難時の心得

- 避難をする前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難をする旨を連絡しておきましょう。
- 避難所は、こちらです。
- 避難指示などは、危険が迫ったときに与えられるので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。
- 私達の指示をよく聞いてください。
- 車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。
- 避難場所では、市職員や消防団員の指示に従ってください。洪水の状況に関して、ラジオ・テレビ・市からの情報などを伝達しますので、落ち着いて行動してください。

援助が必要な人がいたら…

こちらが安全です。

●目の不自由な方には、まず声を掛けましょう。誘導するときは、肘のあたりを軽く持ってもらい、ゆっくり半歩前を歩きましょう。

ゆっくり上がりましたね。

●耳の不自由な方には、近くまで行って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはきり動かしましょう。また、紙とペンで筆談しましょう。

僕も手伝うよ。

●身体の不自由な方には、それぞれの人に適した誘導方法を確認し、恐怖感を与えないように配慮しましょう。

洪水の中を歩くときの注意事項

●歩ける水の深さはひざの高さまでです。流れが速いと20センチの深さでも危険です。無理をせず建物などの高所で救助を待つのが安全です。

●裸足・長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が動きやすいです。

●水没がしきりまでで、歩きにくくなってきた…

●ここなら大丈夫。救助を待ちましょう。

●ここは気を付けて。

●水面下には、側溝や水路、道路の段差やマンホールなどの危険が潜んでいます。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。

●高齢者や身体の不自由な人などは背負いましょう。特に子供から目を離さないように注意しましょう。

●はぐれないようにロープをつかむなどして避難しましょう。

●みんなしっかりついてくたうよ。

雨の強さチェック

避難時の心構えとして雨の様子をチェックすることが大切です。日ごろから雨が降り出したら、どの程度の雨なのか観察してみてください。

やや強い雨 (1時間に10～20mmの雨)

雨の音がよく聞こえ、地面に水たまりができる場所もあります。

強い雨 (1時間に20～30mmの雨)

土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。

激しい雨 (1時間に30～50mmの雨)

バケツをひっくりかしたような激しい雨。河川のあふれ、下水のあふれ、崖くずれが起こりやすくなります。

非常に激しい雨 (1時間に50～80mmの雨)

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。道路が冠水し、水害発生の危険性が高まります。

猛烈な雨 (1時間に80mm以上の雨)

息苦しくなるような圧迫感があり、大規模な浸水が発生するおそれがあります。場合によっては河川の氾濫のおそれもあります。

防災情報の伝達・取得方法

防災情報の受け取り方には、プッシュ型とプル型の2タイプがあり、テレビ、ラジオ、防災行政無線のように受け身でも情報を取得できる方法をプッシュ型、パソコン(インターネット)のように自分から情報を取りに行く方法をプル型と呼んでいます。

行政から住民へ伝える(プッシュ型)

●テレビ

●ラジオ

●防災行政無線

住民側から情報を入手する(プル型)

●パソコン

気象情報 気象庁から発表される大雨・洪水警報等の状況を確認することができます。

大分県地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/oita/>

気象庁防災情報Twitter https://twitter.com/JMA_bousai

雨量・水位情報 雨量観測データや河川の水位、潮位等を確認することができます。

大分県ホームページ <https://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/>

大分県 雨量・水位観測情報 <http://river.pref.oita.jp/>

川の水位情報 危機管理型水位計 <https://k.river.go.jp/>

国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp/index>

防災情報

津久見市ホームページ <https://www.city.tsukumi.oita.jp/>

津久見市Twitter https://twitter.com/TsukumiCity_PR

おおいだ防災アプリ <https://www.pref.oita.jp/site/bosaitaisaku/oitabousaiappli.html>

県民安全・安心メール(事前に登録が必要です) <https://www.bousai-oita.jp/pc/index.html>

津久見市フェイスブック <https://www.facebook.com/TsukumiCity/>

おおいだ防災情報ポータル <http://oita-bosai.force.com/>

防災行政無線の電話応答サービス 0972-82-0228・0972-82-0229

避難行動の種類

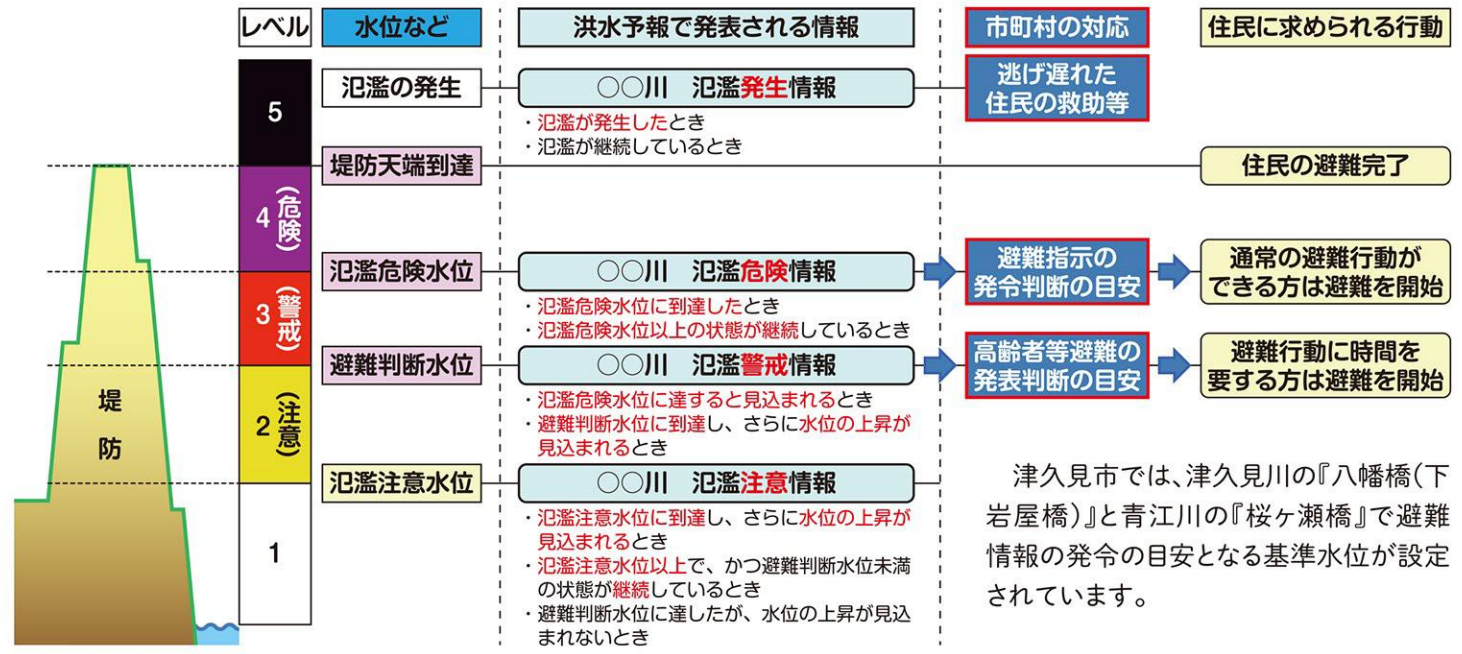
避難行動には、「立退き避難」(水平避難)と「屋内安全確保」(垂直避難)があります。

「立退き避難」
自宅等から避難所や安全な場所へ移動する避難行動。

「屋内安全確保」
自宅等建物の上層階に留まり、安全を確保する避難行動。

河川の水位に応じた危険度レベル

内水による氾濫は、津久見川や青江川の河川水位の影響を受けることがあります。大分県が河川の水位に応じた危険度レベルを設定していますので、避難する際の参考にしてください。



河川の水位情報はインターネットから入手することが出来ます。 大分県の雨量・水位観測情報 …… <http://river.pref.oita.jp/>

災害用伝言ダイヤルを活用する

NTT西日本 災害用伝言ダイヤルの利用方法の例

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。 ※災害時、公衆電話は優先的に通話できます。

被災地> 再生 録音 <その他の地域>

災害用伝言ダイヤルセンター 171

伝言の録音・再生

忘れてイナイ(171)?災害伝言171など覚えてください。「171」をダイヤルするとガイダンスが流れます。利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生をしてください。(※平常時には利用できません)